

主体的・協働的な学級に向けた「学級経営リフレクション」

主体的・対話的で深い学びを実現するためには、指導法の改善とともに、その前提となる学級経営の充実が欠かせない。以下を踏まえ、**主体的・協働的な学級経営**に向けたリフレクションに取り組み、質の高い学びを支える「**誰一人取り残されない学級づくり**」を目指しましょう。

埼玉県学力・学習状況調査や国際的な調査においても、学級経営と学力が正の関係にあることが示唆されています。



学級経営リフレクションシート

▼「リフレクション」は「内省」

リフレクションとは「反省」ではなく、自分の行動や考え方について強みも弱みも客観的に見つめ直し、思考や行動に変化をもたらすことで成長につなげる行為である。その際、必要となるリフレクションの視点を整理したものが、次頁に示す「学級経営リフレクションシート」である。

▼「学級経営リフレクションシート」

各学校より推薦された**35名の「学級経営が巧みな教師」**に共通する優れた実践知を言語化した資料であり、以下「2つの視点（縦の系統）」と「4つのテーマ（横の内容）」で構成している。

